

# 21<sup>th</sup> 聞き書き甲子園

参加申込書

【参加資格】高校生 【募集人数】96人 【応募〆切】2022年6月23日(木)必着

【参加条件】事前研修に参加できること。また、聞き書き作品を期日までに提出すること。 \* 選考結果は7月末までに郵送で通知します。

【参加費用】無料 \* 事前研修、取材、成果発表会にかかる旅費は主催者が負担します。

【応募方法】ウェブサイトからご応募ください。もしくは、参加申込書と応募動機を書いた作文(400字程度)を事務局まで郵送ください。

【表彰】農林水産大臣賞、文部科学大臣賞、環境大臣賞、林野庁長官賞、ファミリーマート特別賞等

【お申し込み・お問い合わせ先】〒156-0043 東京都世田谷区松原1-11-26 コスモリヴェール松原301  
聞き書き甲子園実行委員会事務局 (NPO法人共存の森ネットワーク内)  
TEL:03-6432-6580/FAX:03-6432-6590/E-mail:contact@kikigaki.net

聞き書き甲子園  
ウェブサイトはこちら。  
<https://www.kikigaki.net>



フリガナ			
氏名	生年 月日	西暦 年 月 日生( 歳)	
	性別	男 女	
住所	〒( - ) 本人携帯番号( - - )		
E-mail			

フリガナ			
高校名	年 組		
高校所在地	〒( - ) 電話番号( - - )		

フリガナ			
担当教員	参加者との関係 <input type="checkbox"/> 担任 <input type="checkbox"/> 部活顧問 <input type="checkbox"/> その他 _____		

\*緊急時等に事務局と高校生との連絡・調整をしていただく場合があります。

交通手段	自宅 → _____ → 東京駅または羽田空港
------	-------------------------

\*自宅から東京駅または羽田空港までの交通手段(JR、飛行機、高速バス等)を全てご記入ください。ご記入いただいた情報をもとに、8月10~13日の研修参加チケットを手配します。

保護者氏名	① ※「保護者氏名」欄に押印がない場合は、受理できません。 また、「保護者氏名」欄は、原則として保護者本人がご記入ください。		
住所	〒( - )	ご自宅電話番号( - - )	
		携帯電話番号( - - )	
		E-mail( )	

\*住所は参加者の連絡先と異なる場合に記入してください。

自己PR	あなたの長所や経験、 特技、将来の夢などを 書いてください。
------	--------------------------------------

※開催にあたっては、国や各都道府県の方針に従い、新型コロナウイルス感染防止対策を徹底して行います。

状況により、開催内容が変更・延期・中止になる可能性もあります。あらかじめご了承ください。

最新の情報はウェブサイトにてご確認ください。

# 21<sup>th</sup> 聞き書き甲子園

ニッポンの  
深層へ。  
未知の世界の  
扉をひらこう。



森・川・海の名人たちを未来につなげ!

KIKIGAKI

【主催】聞き書き甲子園実行委員会(農林水産省、文部科学省、環境省、公益社団法人国土緑化推進機構、NPO法人共存の森ネットワーク)【募  
金協力・企業寄付】株式会社ファミリーマート【助成】公益財団法人日本財団【協賛・協力】一般財団法人環境文化創造研究所、公益財団法人  
一ツ橋文芸教育振興会、富士フィルムホールディングス株式会社、株式会社長塚電話工業所、株式会社トンボ、京王電鉄株式会社、株式  
会社ティムコ、公益財団法人SOMPO環境財団、株式会社ベネッセコーポレーション【後援】総務省、全国知事会、全国市長会、全国町村会、  
全国山村振興連盟、一般社団法人全国過疎地域連盟、NPO法人「日本で最も美しい村」連合

Supported by  
日本財団  
THE NIPPON  
FOUNDATION

あなたと、コンビに、

ファミリーマートは「夢の掛け橋募金」を通じて、この活動を応援しています。

FamilyMart

# What is KIKIGAKI?

## Q1. 聞き書き甲子園とは？

日本は、面積の約7割を森林が占め、周囲を海に囲まれています。そして地域ごとに異なる気候や風土、文化、暮らしがあります。

聞き書き甲子園は、全国から選ばれた高校生が、日本各地の森・川・海の名人を訪ね、一対一で「聞き書き」するプロジェクトです。

高校生は、名人が働く仕事を訪ね、先人から受け継いできた仕事や生き方について学びます。名人との対話は録音し、すべて書き起こして作品に仕上げます。その過程で高校生は単に知識だけではなく、名人の生きる姿勢に学び、自身の将来や進路について考えるようになります。

名人が大切にしてきた、自然とともに生きる知恵や技術、そして心。そこには、これからの持続可能な社会をつくるヒントがあるのかもしれない。



## Q2. 「聞き書き」って何？

「聞き書き」の基本は、「聞く」というコミュニケーションです。高校生は、名人と一対一で出会い、インタビューをします。二人の対話は録音し、一字一句、書き起こします。書き起こした文章は、名人の語り口を生かしながら整理し、名人の一人語りの文体にまとめるのです。その過程で高校生は、名人の言葉を何度も繰り返し、反芻します。

ある高校生は言いました。

「名人の話は、いつの間にか自分が言いたいこと（伝えたいこと）になった」

名人が語る仕事や、名人が暮らす地域のことは、高校生にとっては、はじめは「他人ごと」です。しかし、作品をまとめる過程で、名人への共感や敬意とともに「自分ごと」に変わります。その結果、高校生と名人は、本当の祖父母と孫のような深い絆を育みます。

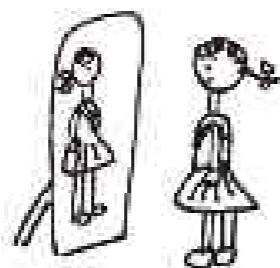
## Q3. 聞き書き甲子園に参加すると、どんな変化があるの？

聞き書き甲子園は、2002年（平成14年）に始まりました。参加者の累計は、もうすぐ2000人になります。これまでに参加した高校生は、全国の仲間たちや名人との出会いから、新たな一歩を踏み出しています。



### 視野が広がる

名人の仕事を訪ね、現場を見て、歩き、話を聞く。その技や知恵を学び、多様な生き方や働き方を知ることで、知識や視野がぐんと広がります。



### 自分と向き合う

名人との対話を何度も反芻し、その人生としっかり向き合うことは、高校生自身が自分を見つめ直し、再発見することにもつながります。



### 未来をつくるヒントを得る

全国から参加する仲間と名人、さらに高校生をサポートしてくれる卒業生の先輩たち。「聞き書き」での出会いは、自分の未来を考えるヒントになります。

## 聞き書き甲子園をもっと知るための「6つの質問」

## Q4. 名人ってどんな人？

名人は、森・川・海の仕事に長年従事する中で、先人の知恵や技、心を受け継ぐ人々です。その職種は、樵（きこり）、炭焼き、木工職人、大工、漁師、海女など、さまざまです。「聞き書き甲子園」では、高校生の受け入れに協力する市町村から推薦いただいた名人に一対一で「聞き書き」します。



## Q5. どの地域の名人に、「聞き書き」するの？

第18回開催（2019年度）より、全国の高校生の受け入れと地域の名人の推薦に協力いただく市町村（地域）を毎年公募し、実施することになりました。高校生は、それぞれの地域から推薦いただいた森・川・海の名人を訪ね、「聞き書き」します。

【本年度の受け入れ地域】栃木県那珂川町／山梨県小菅村／石川県能登町／富山県南砺市／静岡県川根本町／岐阜県みのかも定住自立圏（美濃加茂市・川辺町・白川町・東白川村）／三重県鳥羽市／福井県美浜・若狭町／京都府京丹後市／兵庫県養父市／岡山県真庭市（勝山・美甘地域）／徳島県にし阿波地域（美馬市・三好市・つるぎ町・東みよし町）／山口県山口市（徳地地域）／熊本県八代市



## Q6. 「聞き書き」について、もっと知るには？

### BOOKS



### 聞き書き作品集

高校生の聞き書き作品は、年度ごとに冊子にまとめています。購入を希望される方は、事務局までお問い合わせください。

### MOVIE



### 映画「森聞き」

「聞き書き甲子園」に参加した4人の高校生と名人のドキュメンタリー映画です。上映希望者には、有料で貸出いたします。また、条件によっては無料貸出も可能な約50分の短縮版もあります。

### WEB



### 聞き書き甲子園公式ウェブサイト <https://www.kikigaki.net>

「聞き書きの本棚」では、高校生や名人に関するエピソードとともに、これまでの聞き書き作品を紹介しています。また、公式YouTubeチャンネルでは取材のしかたなどを学べる動画を公開しています。

### 聞き書き電子図書館

<http://lib.ruralnet.or.jp/mori/>

過去の作品と名人のプロフィールを検索し、閲覧することができます。作品の全文をご覧いただくには、登録が必要です（有料）。



# KIKIGAKI



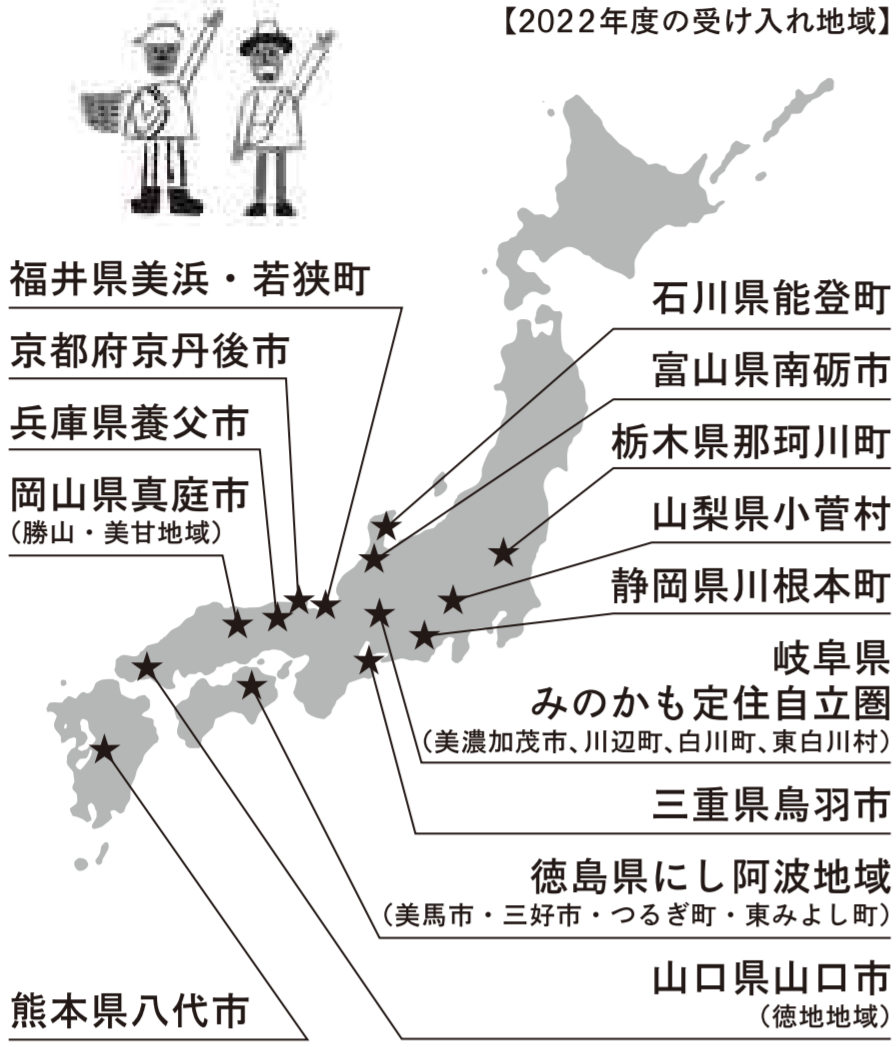
発行者：聞き書き甲子園実行委員会

聞き書き壁新聞 2022

https://www.kikigaki.net

発行日：2022年5月

取材先は全国に広がる14の地域



## 21<sup>th</sup>聞き書き甲子園

第21回聞き書き甲子園では、全国から参加する高校生が森・川・海の名人の仕事を訪ね、その知恵や技、人生を1対1で聞き書きします。今年参加する高校生が取材するのは、全国14の地域で暮らす名人たち。その仕事は、樵、造林手、木工職人、大工、漁師など、さまざまです。自然と関わる仕事をしながら、先人たちの知恵や技術を受け継いできた名人たちの言葉には、未来を考えるためのヒントが詰まっているはず。聞き書き甲子園に参加して、知らなかった世界に一步ふみ出してみませんか？



### 名人に会い、森・川・海の暮らしを未来に繋ぐのはきみたちだ。

聞き書き甲子園の1年

6月23日まで

応募する

よーし、頑張って参加申込書を書こう！



参加者に選ばれた！

8月10・13日

研修 都内・宿泊アリ

OB・OGの大学生たちが聞き書きのコツを教えてください。最初は緊張したけど全国に友達が出来たよ！



名人にアポを取る



9月

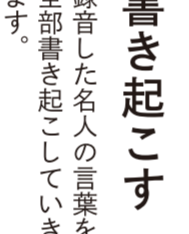
取材をする①



10月

書き起こす

録音した名人の言葉を全部書き起こしていきます。



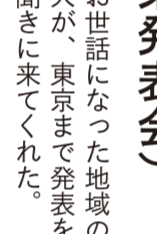
12月



3月下旬

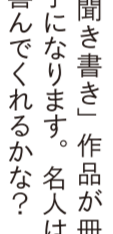
フォーラム (成果発表会)

お世話になった地域の人が、東京まで発表を聞きに来てくれた。



冊子になる

「聞き書き」作品が冊子になります。名人は喜んでくれるかな？



名人のところにまた訪ねていきたいな。



聞き書き抜粋

白い森のマタギ

山の神様に身を預けて生きる、

「山の名人」齋藤重美 (マタギ・山形県小国町) (聞き手) 藤枝子 (神奈川県聖ヨゼフ学園高等学校1年)

山の神様への信仰

マタギ集団ってのは、山の神様を信仰する団体なんです。自分の身を清めて山の神様に身を預ける儀式を、4月の春熊祭の1ヶ月前からします。ご飯を炊くときに、家族と自分のを別の焚火で炊く。夫婦であってもご飯の焚火を混ぜないっていう家庭内別居を1ヶ月間やって身を清める。熊の当り、家から出はって山に入るときにも儀式があります。山の神を祀ってる祠が里山と熊場の山との逆目にある。その祠に御神酒をあげて、「熊の安全、自分の安全、獲物を授けてください」と参拝します。祠からは山の神様に身を預けることで、山言葉を使うのが掟です。

マタギとして生きて

若いときは毎日山に出はって。ちよつとくらの吹雪でもな。毎日

参加者の声



おそらく参加しなければ一生経験しなかったであろう海の名人との1対1の対話は、これまでスマホの中で凝り固まっていた私の世界を、大きく押し広げてくれたように感じました。(宮城県Oさん)

言葉一つ一つに名人の性格、経験、人生など多くのものが詰まっていると感じ、対話することのすばらしさを体感しました。また、技術を残していく重要さと責任の重さも感じました。(栃木県Tさん)

自然と共に暮らしている名人は、とてもかっこよくて、楽しそうで、私の憧れです。温かい笑顔で「北海道の孫じゃ」と言ってもらえたことは一生の宝物です。(北海道Tさん)

歩いて歩いて、山も川も全部覚えたんだ。あそこは木が倒れてるからキノコ出るとか、あそこは雪解けが早いから山菜も早くできるとか。山では人に頼ってばかりじゃダメだ。人の先に立って歩いて、危険かどうか自分で判断しなくちゃいけない。たつても覚えらんねえ。そうやってつと、次もすぐその場所さ行けるようになる。

山には動物も山菜もキノコも、川に入れば魚もいる。お金を取っても買えない物があるんだ。マタギになったからこそ山のことかわかるんだ、と今もずっと思ってる。マタギになってよかった。山は俺の宝物だ。

◎名人プロフィール「齋藤重美」年齢72歳/マタギである父から継承した山菜やキノコ採りなど山に関する知識も豊富で、森林の原木の調査も行う。昔ながらのマタギ文化を知る貴重な存在であり、後世に残すために尽力している。(第20回聞き書き作品集より抜粋)

彫刻屋台に魅せられて

「森の名人」黒崎孝雄 (彫工・栃木県鹿沼市) (聞き手) 新井銀汰 (栃木県立鹿沼高等学校2年)

生木を彫る

彫り物に関しては生木を使うのが昔からのやり方。木は水分がある時

の方が柔らかい。水分が抜けると固くなるんだよ。だから彫刻屋台の場合は角材でもすごい厚い木を使うの。乾燥してるとまじ彫りにくい。表面は乾燥してくるけど中まで乾燥するにはすごい時間が掛かるんで、表面が乾いたら中の方は乾いてないの。中は膨らんだ状態になって表面だけが縮んじゃうから割れちゃう。彫り物の場合は彫って穴をたくさん開けてるので穴の中からも乾燥して割れにくくなるのよ。

生涯現役

彫工の仕事は彫れる限りはやりた。彫り物は半分病気みたいなもんで中毒みたいに辞められないと思うよ。彫っているとき一番心が落ち着く。自分は屋台の彫り物を見て彫りたくなっちゃうんだ。うちら職人がやらなければならぬことって何かを考えたとき、自分が死んで後々の人たちが彫り物を見てやりたくなくなっちゃうような物を残せばいいんだ。それって難しいことなんだけど一番やらなきゃならないことだと思ってる。(第20回聞き書き作品集より抜粋)

ファミリーマートは、「夢の掛け橋募金」を通じて、この活動を応援しています。

ファミリーマートは、2006年より店頭募金「ファミリーマート夢の掛け橋募金」を通じ、こともちと地球に豊かな未来を残すための活動をNGO/NPOと取り組んでいます。国内ファミリーマート全店で実施している店頭募金は、株式会社ファミリーマートからの企業寄付と併せて各団体へ寄付されています。その一部が公益財団法人国土緑化推進機構への寄付を通じて、「聞き書き甲子園」の活動に役立てられています。

あなたと、コンビニ。FamilyMart

**集まれ、高校生。**

【募集内容】●参加資格 高校生 ●募集人数 96人 ●参加条件 事前研修に参加できること。また、聞き書き作品を期日までに提出すること。●参加費 無料(事前研修、取材、成果発表会にかかる旅費は主催者が負担します) ●応募方法 参加申込書と応募動機を書いた作文(400字程度)を事務局までお送りください。

聞き書き甲子園ウェブサイトから応募できます。